

## 厚真町（厚真集落協定）における平成22年度の活動内容

### ○ 対象地区

**12地区**（幌内、富里、高丘、東和、桜丘、本郷、幌里、宇隆、新町、豊丘、軽舞、鹿沼）  
**+公共牧場**（宇隆、幌里）

### ○ 協定参加者

**77名**（農業者73名、農業生産法人3、その他1）

### ○ 協定農用地面積および交付金額

	協定面積 (㎡)	交付金額 (円)
田 (緩傾斜)	1,763,811	13,776,424
田 (急傾斜)	39,172	822,612
畑 (緩傾斜)	13,521	46,802
草地 (緩傾斜)	417,055	1,233,630
計	<b>2,233,559</b>	<b>15,879,468</b>

### ○ 集落協定における交付金の使用実績

交付金総額 (円)	共同取組活動分		個人配分	
	金額 (円)	割合	金額 (円)	割合
16,887,570	11,247,863	66.6%	5,639,707	33.4%

※ 中山間地域等直接支払交付金は、**交付金交付額の概ね1/2以上を集落の共同取組活動に充てるよう指導することが望ましい**とされています。

### ○ 共同取組活動の内容と交付内訳

ア. 農業生産活動等（基礎単価の活動：必須）

活動事項	取組内容	交付金額 (千円)
農用地に関する事項	農地法面の点検	125
	鳥獣害防止対策	2,805
	公共牧場の維持管理活動	614
水路・農道等の管理方法	柳切り・草刈り	2,513
多面的機能を増進する活動	公民館の整備・補修・花壇整備等の環境美化 <sup>(注2)</sup>	1,353

イ. 集落マスタープランの記載（基礎単価の活動：必須）

活動事項	重点項目	22年度取組状況
協定農用地の拡大	協定農用地の拡大 223ha⇒230ha	協定農用地面積 230ha
機械・農作業の共同化等営農組織の育成	共同機械を利用した基幹的農作業（病虫害防除）の実施 目標 80ha	約58haの共同利用が実施された
新規就農者の確保	新規就農者1名の確保	1名が新たに就農した
認定農業者の育成	認定農業者1名の育成	新規認定者なし
共同で支え合う集団的かつ持続可能な体制整備	協定対象農用地から耕作放棄地を発生させない	耕作放棄地0ha

ウ. 農用地保全マップの活動（体制整備単価の活動：選択的必須）

活動事項	取組内容	交付金額（千円）
機械・農作業の共同化	共同機械による基幹的な農作業（病虫害防除）	804
	共同機械倉庫の補修	44
新規就農者の確保	農作業研修の実施	54

エ. その他

活動事項	取組内容	交付金額（千円）
事務費	交付金支払事務等	616
23年度へ繰越	積立等	2,269

（注）ここでいう公民館とは、マナビイハウス等を指します。また、公民館整備・花壇整備は公民館本体ではなく、付随する倉庫や花壇の補修などのことです。

## ○ 22年度までの実施状況についての評価

集落協定に記載した幅広い項目にわたる多様な取り組みが適切に実施されている。  
また、初年度において目標が達成された項目もあり、目標年度に向けて順調に活動が進んでいると評価できる。

## ○ 23年度以降の課題、取組の方針

23年度以降も、より充実した活動が進められるとともに、さらなる地域の活性化が図られるように町としても集落に働きかけていく。なお、認定農業者の育成については、条件不利地域における農業所得目標の達成を目指す農業経営改善計画を作成するため、新規作物の導入等を推進・指導していく。また、活動内容について一般住民への広報等に努めていくなどして、より一層の交付金活動への理解が得られるように工夫していく。

※ 22年度の活動状況の評価については、平成23年6月30日に開催された中山間地域等直接支払制度基準検討会・厚真町中山間地域等直接支払推進協議会総会で確認されたものです。